



2022年4月8日

各 位

会社名 株式会社 Z O A
代表者名 代表取締役社長執行役員 伊井 一史
(コード番号：3375 スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 安井 明宏
電 話 055-922-1975

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月22日にスタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記の通り作成しましたので、お知らせ致します。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年3月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、基準を充たしていなかった流通株式時価総額について、基準を充たせる水準まで改善が進んだと考えております。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比 率 (%)
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月30日 (移行基準日時点)	803	4,690	5.6	32.2
	2022年3月31日	859	8,590	10.6	59.1
上場維持基準		400	2,000	10	25.0
計画書に記載の項目					

※当社の適合状況及びその推移は、2021年6月30日は東証が基準日時点で把握している当社の株式等の分布状況等をもとに算出を行ったものであり、2022年3月31日は証券代行会社より入手しました株式分布状況表(速報)及び大株主名簿(速報)並びに株価の推移等をもとに算出を行ったものであります。

また、流通株式時価総額は流通株式数に日々の株価最終価格の平均値を乗じた値を分割又は併合割合で調整して算出しております。なお、本年1月～3月の日々の最終価格の平均値は1,236.4円です。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 流通株式数について

2022年2月14日及び2022年2月21日に主要株主がそれぞれ当社株式の売却が行われました。

売買日	売却株主	株式数	購入株主	株式数
2022年2月14日	ダイワボウ情報システム株式会社	144,700	池田昌子氏	82,200
			株式会社アイティーシー	62,500
2022年2月21日	長嶋しのぶ氏	100,000	マーチャント・バンカーズ株式会社	100,000

今回、一部の大株主の方々にスタンダード市場の上場維持基準に対する当社の現状をご理解いただき、上場維持基準の改善を目的として、株式の一部を売却いただきました。なお、この当社株式の売買により、これまで非流通株式であった長嶋しのぶ氏の株式100,000株が流通株式となりました。同様に、ダイワボウ情報システム株式会社の売却株式144,700株が流通株式となるとともに、同社の保有割合が10%以下となり、かつ保有目的が「純投資」となったため保有株式145,300株も流通株式となりました。なお、マーチャント・バンカーズ株式会社及び株式会社アイティーシーの保有目的も「純投資」であります。

これにより合計390,000株が流通株式となったため、流通株式数、流通株式時価総額、流通株式比率の数字がそれぞれ増加し、スタンダード市場の上場維持基準を充たす状況と考えております。

なお、異動前後の株式保有状況をまとめますと、以下の通りとなります。

株主名	株式異動前 (2/13)		株式異動後 (2/22)		
	株式数	保有割合	株式数	保有割合	増減
長嶋しのぶ氏	※ 414,700	28.52	※ 314,700	21.64	▲100,000
ダイワボウ情報システム株式会社	※ 290,000	19.94	145,300	9.99	▲144,700
マーチャント・バンカーズ株式会社	—	—	100,000	6.88	100,000
池田昌子氏	—	—	82,200	5.65	82,200
株式会社アイティーシー	—	—	62,500	4.30	62,500

※印は、非流通株式を示しております。

以上のとおり、当社の流通株式時価総額につきましては、株主の保有目的が「純投資」との判断のもと、東京証券取引所の定める上場維持基準を充たす水準にあると考えております。当社の流通株式時価総額の適合判定基準日は2023年3月末となりますので、そこで東京証券取引所の適合性審査を受けることとなります。当社といたしましては、今後も、引き続き東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準を充たす状態を維持すべく取り組んでまいります。

以 上